

## 「ひとめぼれ」の鉄コーティング湛水直播栽培による良質米安定生産のための生育指標と栽培法

### 【1 成果の概要】

「ひとめぼれ」の鉄コーティング湛水直播栽培において、倒伏を抑えつつ、単収 530kg/10a 前後、検査等級 1 等、玄米タンパク 7%未満を安定確保するための生育指標と栽培法は以下のとおりです。

- ・ 種子準備 合格種子、鉄コーティング量は乾籾の 0.5 倍重
- ・ 施肥（基肥） 肥料「直播用 200」（LP-N100%, LP30:LP70=5:3）で窒素成分 4~6kg/10a 相当〔または速効性肥料（硫安等）基肥 N4g/10a+幼穂形成期 N2kg/10a〕
- ・ 播種様式 点播
- ・ 播種量 乾籾 3kg/10a 前後（目標苗立ち本数 60~80 本/m<sup>2</sup>）

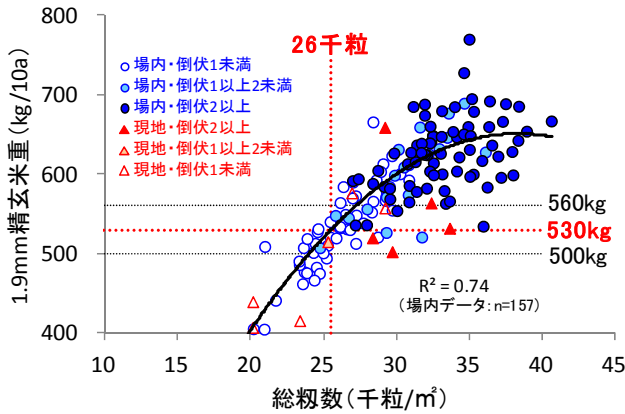


図1 総粒数と粗玄米収量の関係（2014~2016）

※ 場内（n=157）：農業研究センター（北上市）

現地（n=11）：矢中 2, 北上 3, 水沢 2, 胆沢・一関・千厩・花泉各 1

倒伏（0：無~5：甚）を 2 未満に抑制できる限度の総粒数は 26 千粒/m<sup>2</sup>、このときの粗玄米重 530±30kg/10a。

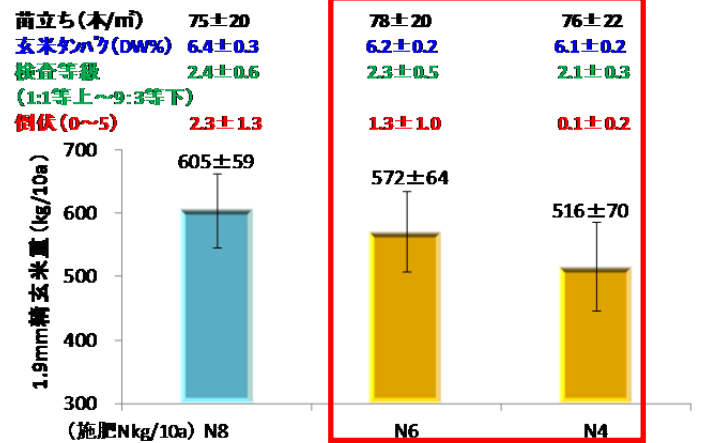


図2 施肥量別の収量（2015~2016 北上）

※ N；施肥チッソ量（「直播用 200」，基肥一発施用）

施肥 N4~6kg/10a、苗立ち本数 60~80 本/m<sup>2</sup>の範囲内で、農産物検査 1 等、玄米タンパク 7%未満（乾物、ケツ AN-800）の品質が確保できる。

表 目標収量と収量構成要素等

1.9mm 精玄米重 (kg/10a)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	総粒数 (千粒/m <sup>2</sup> )	1.9mm 千粒重 (g)	登熟 歩合 (%)	稈長 (cm)
530±30	450±50	26	23.6±0.7	94±3	82±4

目標収量確保に必要な穂数は 450 本/m<sup>2</sup>前後。

倒伏無しで 530kg/10a 超、  
1 等、タンパク 7%未満確保



### 【2 留意事項】

- （1）播種後は苗立ち安定のため落水出芽管理を必ず行うとともに、有効茎（穂数となる茎；450 本/m<sup>2</sup>相当；表）を確保した後は中干しを確実に実施して下さい。
- （2）いもち病の基本防除は必ず実施して下さい。
- （3）同時期に移植した稚苗水稻に比べ、出穂は 7~10 日遅いので（北上市；5 月上・中旬播種の場合）、播種時期に留意して下さい（目安；日平均気温 12℃到達日以降、早めに播種）。